I-O DATA

はじめにお読みください

DVD-ROM
取扱説明書

DVD-iU16A

105344-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品はUSB接続のDVD-ROMドライブです。
本製品をお使いになれば、CD-ROMはもちろんDVD-ROMも読み込むことができます。
また、添付の「PowerDVD」を使えば、DVDビデオを見ることもできます。

用途別INDEX

ドライブをセットアップしたい（インストール、取り付け）

【使う準備をする】（9ページ～）をご覧ください。

DVDビデオを見たい

【DVDビデオを見る】（30ページ～）をご覧ください。

使っていてトラブルが起こった

【困った時には】（38ページ～）をご覧ください。
【問い合わせ先】（50ページ～）をご覧ください。

コラム

【USB】
パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。以下の2つのバージョンがあります。

【転送速度】
USB 1.1： 12Mbps（理論値）
USB 2.0：480Mbps（理論値）

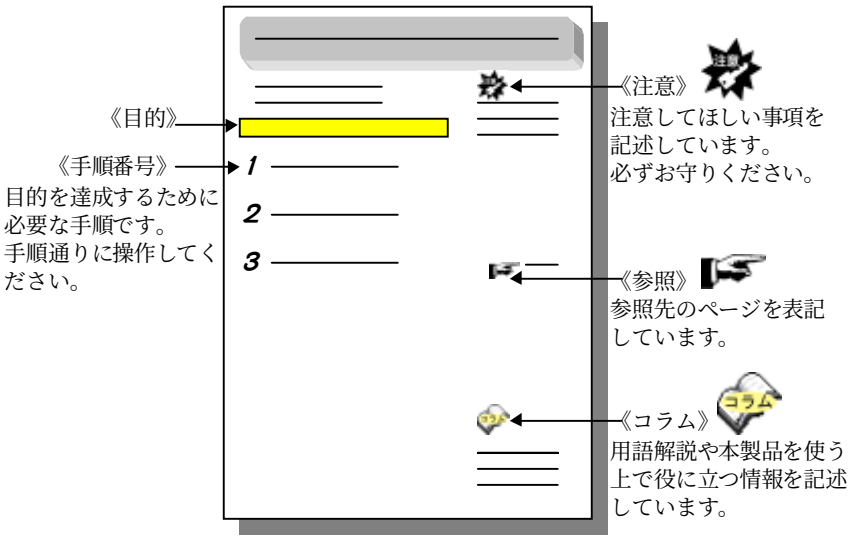
USB 2.0では、既存のUSB 1.1機器をそのまま接続できます。
（本製品をUSB 1.1接続した場合、コマ落ちが発生するためDVDビデオの再生はできません。）

● 呼び方

本製品	ドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	DVD-ROMディスク、CD-ROMディスクの総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System、Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me/98、Windows 2000の総称

● 本書の読み方

ページの構成は以下のようになります。



もくじ

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
もくじ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ iv
必ずお守りください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vi

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。
“☺”を読めば本製品を使うことができます。

【はじめにすること】
使う前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
箱の中の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
動作環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

【ドライブを使えるようにする】
☺使う準備をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
１．インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２．つなぐ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
３．確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
４．基本操作をおぼえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

【ソフトウェアをインストールする】
☺使ってみよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９
DVDビデオを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

必要なときに読むところ

使用中にトラブルがあったときの解決法や本製品の付属情報です。

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５

インストールしたドライバの削除・・・・・・・・・・・・３６

困った時には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

i-CONNECTについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９

お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０

PowerDVD ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０

DVD-ROMドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５１

サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・ ５２

修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３

コラム

コラムのもくじ

**USB ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず本書で取り付け/取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。


厳守

AC アダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●保温、保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

⚠ 注意


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

《使用時/保管時の制限》

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

《使用時のみの制限》

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所


禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


禁止

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守

本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

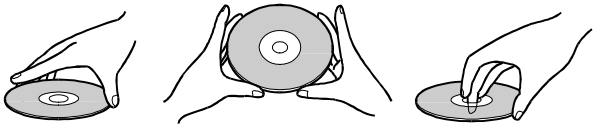
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

厳守

ディスクの取り扱いについては以下をお守りください。

- ●ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- ●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ●ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



- ●ディスクに異物（ディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

使用上のご注意

ソフトウェアをご使用になる前に「README.TXT」を必ずご覧ください。

●使用する際の注意

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

■パソコンに本製品をつなぐには以下の2通りありますが、**両方を同時につながないでください。**故障の原因になります。

・添付のUSBケーブルでつなぐ方法
（ドライブ背面のUSBコネクタ）
・別売のi･CONNECT対応オプションでつなぐ方法
（ドライブ背面のi･CONNECT）

■電源連動機能により、ドライブの電源スイッチをONにした時点ではドライブの電源ランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯します。
電源連動機能については、25ページのコラムをご覧ください。

●DVDビデオを見る場合は、本製品をUSB 2.0でつないでください。

USB 1.1環境でDVDビデオを再生した場合、コマ落ちが発生し、正常に再生できません。詳しくは、7ページのコラムをご覧ください。

●リージョン（地域）番号について

本製品は、日本の地域コードである2に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。



【リージョン（地域）番号】
DVDビデオの再生可能地域を限定するために決められた地域別番号です。世界を6つの地域に分割し、日本は“2”のリージョン番号が割り当てられています。DVD-ROMドライブ、DVDビデオディスク、DVD再生ソフトのリージョンコードが一致しないと再生できない仕様になっています。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物リストです。

2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。

4ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。

5ページ

箱の中の確認

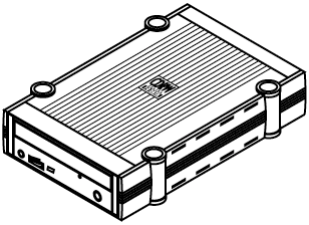
ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

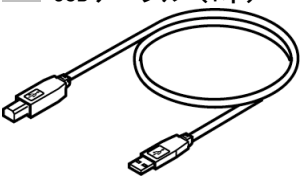
・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

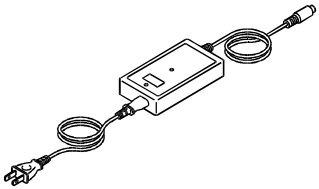
□ DVD-ROMドライブ（1台）



□ USBケーブル（1本）



□ ACアダプタ（1個）



●添付ソフトウェア

□ DVDビデオスターターキット
（CD-ROM：1枚）



▼内容

・USB 2.0CCサポートソフト
（本製品を使用するためのドライバ）
・PowerDVD VR-X
（DVDビデオ再生ソフト）

●その他

- [x] DVD-ROM取扱説明書（本書）
- [ ] クイックリファレンス「DVDで映画を観よう！」（1冊）
- [ ] ハードウェア保証書（1枚）
- [ ] ユーザー登録カード（1枚）
- [ ] ハードウェアシリアルNo. シール（1枚）

※「ハードウェア保証書」と「ユーザー登録カード」に貼ってください。



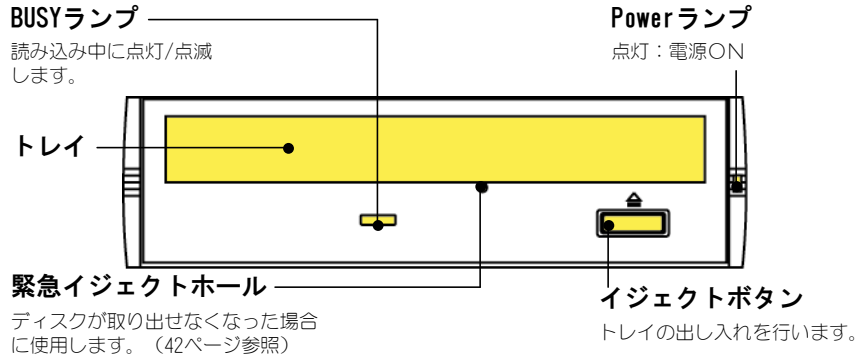
本書は大切に保管してください。
「PowerDVD」をインストールするときに必要なシリアル番号を記述しています。
本書表紙

ユーザー登録は済みましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記述されています。
登録してから、次ページへ進みましょう！

各部のなまえ

各部の名称および機能の確認を行います。

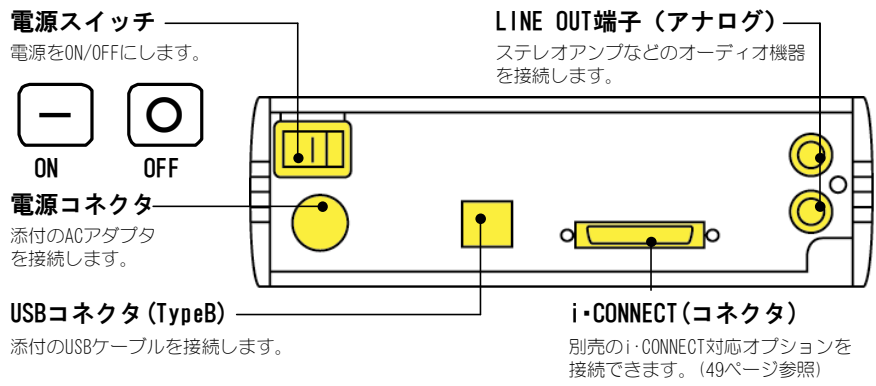
●前面



注意

BUSYランプの点灯中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●背面



動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

● 対応機種・OS

搭載CPU Pentium 100MHz以上のUSBポートを搭載した以下の機種です。
（弊社製USBインターフェイス含む）

対応機種	対応OS（日本語版に限る）※4
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン ※1※2※3** **弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows XP Windows Me Windows 98 Second Edition Windows 98(ServicePack 1以降)※5 Windows 2000

※1 IBM製 Aptiva E21,E31,E17,E27,E47,E2J,E3Jシリーズを除く。

※2 USB 1.1環境では、以下の機種を除く。
東芝製 Dynabook SS PORTEGE6000、Satellite2520シリーズ、
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※3 USB 1.1環境のCOMPAQ製 PRESARIO 3566,3567,3576,3581,3590では、パソコンBIOSのアップデートが必要です。詳しくはコンパック プレサリオ サポートセンターまでお問い合わせください。

※4 本製品のUSB 2.0での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイス製品において確認を行っております。動作確認情報は、各インターフェイス製品メーカーにお問い合わせください。

※5 Windows Updateにて「Windows 98 System Update」を行うか、Service Pack 1によるUpdateを行ってください。

● ハードディスク

空き容量4.7Gバイト以上

● メモリ

64Mバイト以上

● 対応ディスク

以下のディスクの読み込み（リード）のみ可能です。

ディスク	備考
DVD-RAM※1※2	片面（Single Sided TypeⅡ）2.6Gバイト、4.7Gバイト
DVD-ROM	—
DVD-R	3.95Gバイト、4.7Gバイト
DVD-RW※2	Ver1.0、1.1
DVD+RW	—
DVDビデオ	添付の「PowerDVD」をお使いください。
CD-ROM	—
CD-R	—
CD-RW	—
ビデオCD CD-DA（音楽CD）	添付の「PowerDVD」をお使いください。
Photo CD	対応したソフトウェアが別途必要です。
CD TEXT	—
CD Extra	—

※1 対応OSは、Windows Me、Windows 98（Second Edition含む）、Windows 2000です。
※2 UDF1.02、1.5フォーマットされたディスクのみ読み込み可能です。
ただし、UDF2.0でフォーマットされたディスクは、VideoRecording形式のみPowerDVDで再生可能です。（データは読めません。FAT、FAT32でフォーマットされたディスクは読めません。）



縦置き時は12cmディスクのみ使用できます。

● DVDビデオ再生環境

以下の条件にあてはまる機種です。

①USB 2.0動作（USB 1.1ではコマ落ちが発生するため）
②下記のPowerDVD VR-Xの動作環境に対応した機種であること

対応OS※	搭載CPU
Windows Me	Intel Pentium Ⅱ 300MHz以上
Windows 98 Second Edition	Intel Celeron 300A以上
Windows 98	AMD K6-2 400MHz以上
Windows XP	Intel Pentium Ⅱ 400MHz以上
Windows 2000	Intel Celeron 433MHz以上



「PowerDVD」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。
「PowerDVD」のお問い合わせは50ページをご覧ください。



【本製品のUSB 1.1での読み込み速度について】
USB 1.1の環境では仕様により、ドライブの最大性能は発揮できません。
本書に表記している読み込み速度は、本製品のドライブが持つ最大性能です。
（コマ落ちが発生するためDVDビデオの再生はできません。）

【USB 2.0の環境が無い場合】
別売の弊社製USB 2.0インターフェイス製品を使用すると、USB 2.0動作が可能となり、より快適に書き込み/読み込み、DVDビデオの再生ができます。
また、別売の弊社製i-CONNECTオプションを使用しても、より快適に書き込み/読み込み、DVDビデオの再生ができます。
最新情報は、弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）でご確認ください。

MEMO

使う準備をする

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要になります。手順にしたがって準備しましょう。

1．インストール

DVD-ROMドライブをお使いのパソコンで使えるようにするための作業をします。

10ページ

▼

2．つなぐ

DVD-ROMドライブをパソコンにつなぎます。

12ページ

▼

3．確認する

本製品が正しくつながっていることを確認します。

14ページ

▼

4．基本操作をおぼえる

ディスクの入れ方/出し方やドライブのつなぎ方/外し方をおぼえてください。

22ページ

注意

Windows XPでお使いの場合は…

USBドライバをインストールする必要はありません。【2．つなぐ】からお読みください。

1．インストール

Windows Me/98、Windows 2000で、はじめて本製品を使用するときは、USBドライバをインストールする必要があります。USBドライバのインストール終了後、本製品をパソコンに接続できます。

インストールするには、本製品以外のCD-ROMドライブが必要です。本製品以外のCD-ROMドライブが無い場合は、弊社ホームページから「USB 2.0CCサポートソフト」をダウンロードしてください。 **52ページ**

注意

Windows XPでお使いの場合

USBドライバのインストールは必要はありません。

【2.つなぐ】へお進みください。

12ページ

禁止

ここではまだ本製品をパソコンにつながないでください。

1 すべてのUSB機器（マウス、キーボードを除く）を取り外します。

2 Windowsを起動します。

3 「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを挿入します。

本製品以外のCD-ROMドライブに挿入してください。

4 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0CCサポートソフト]ボタンをクリックします。

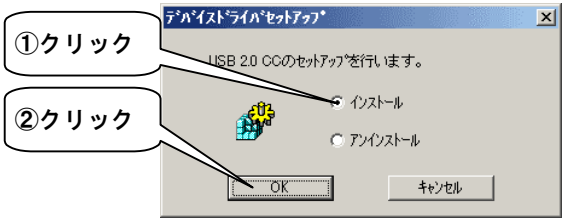
自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」をダブルクリックしてください。

注意

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。起動しているプログラムをすべて終了してください。

5 [インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

→このあと自動でインストールされます。



注意

下のような画面が表示されたときは、【困った時には】をご覧ください。

39ページ



6 [OK]ボタンをクリックします。

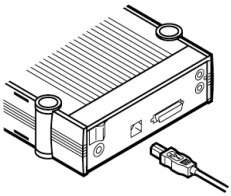


次ページへお進みください。

2．つなぐ

DVD-ROMドライブをパソコンに接続します。

1 **USBケーブルをDVD-ROMドライブに接続します。**



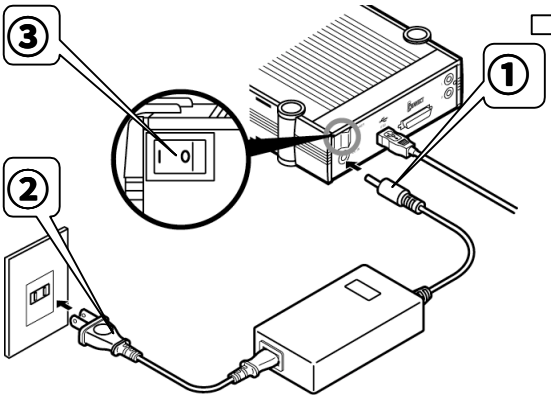
注意

「Windows Me/98、Windows 2000でお使いの場合」
インストールは済みましたか？つなぐ前に、インストールをしてください。

10ページ

2 **DVD-ROMドライブの電源を入れます。**

①DVD-ROMドライブにACアダプタを接続します。
②ACアダプタを電源コンセントに接続します。
③本製品の電源をON（-）にします。



注意

電源連動機能により、この時点でDVD-ROMドライブの電源ランプは点灯しません。
起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯します。
電源連動機能については、25ページのコラムをご覧ください。

3 **USBケーブルをUSBポートに接続します。**

→「新しいハードウェア」画面が表示され、しばらくすると画面は消えます。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない

→[キャンセル]ボタンをクリックし、USBケーブルをパソコンから取り外します。その後、再度インストールしてください。

以上で接続は終了です。次ページへお進みください。



本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。



本製品で音楽CDを聞く方法

・デジタルオーディオ機能を使用します。
→デジタル再生

詳しくは、44ページのコラムをご覧ください。

・サウンドボードなどに接続します。
→アナログ再生

環境に応じて接続してください。

①本製品背面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

③ パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN (またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

３．確認する

本製品が正常に使えるかを確認します。

USBドライバを確認する

（USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、確認方法が異なります。詳しくはUSB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。）

Windows XPで確認 ☞次ページ

Windows Me/98で確認 ☞17ページ

Windows 2000で確認 ☞19ページ

●Windwos XPで確認

1 本製品のアイコンを確認します。

①[スタート]から［マイコンピュータ］を開きます。

②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



注意

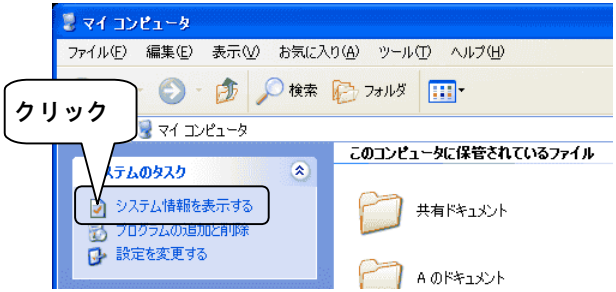
アイコンが表示されない！

【困った時には】をご覧ください。

41ページ

2 ［システム情報を表示する］をクリックします。

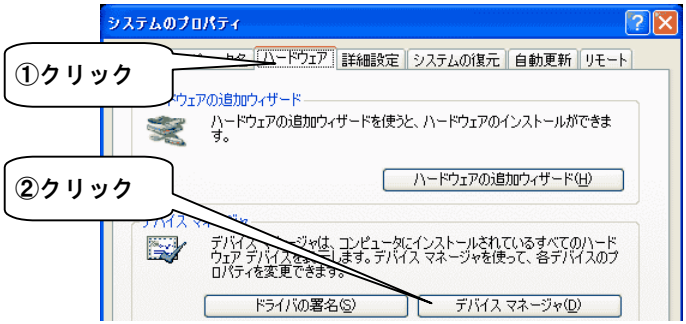
「システムのタスク」内にある［システム情報を表示する］をクリックします。



3 **［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**

①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



4 **［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。**

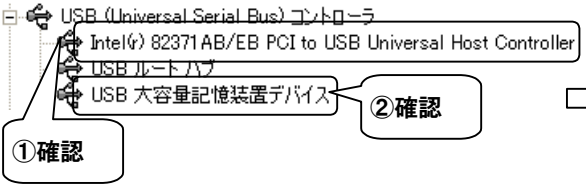
5 **USB(Universal Serial Bus)コントローラの下を確認します。**

①USBコントローラのドライバを確認します。

②［USB大容量記憶装置デバイス］を確認します。

通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。

▼画面例 ※USBコントローラは機種により異なります。



注意

・USBコントローラに［!］が付いている

→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 **「デバイスマネージャ」を閉じます。**

画面右上の×をクリックします。

・［USB大容量記憶装置デバイス］に［!］が付いている

→接続と電源をご確認ください。

確認後、22ページへお進みください。

●Windwos Me/98で確認

1 「システムのプロパティ」を開きます。
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。



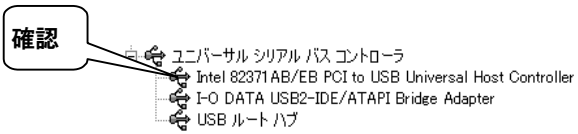
通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。

4 USBコントローラの名前を確認します。
［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

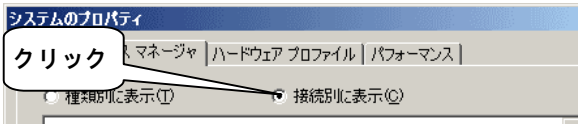
注意

USBコントローラに［!］が付いている
→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

▼画面例 ※USBコントローラは機種により異なります。



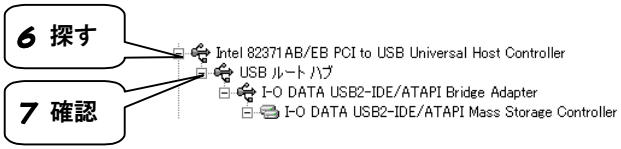
5 ［接続別に表示］を選択します。



6 USBコントローラの名前を探します。
手順4で確認したUSBコントローラを探します。

通常、USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

7 **USBコントローラの下を確認します。**



8 **「デバイスマネージャ」を閉じます。**
画面右上にある×をクリックします。

9 **本製品のアイコンを確認します。**
①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



追加されたアイコン
（ドライブ名は環境により異なります。）

確認後、22ページへお進みください。

注意

■［USBルートハブ］に［!］が付いている
→パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

■［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］、または［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Mass Storage Controller］に［!］が付いている
→もう一度、【インストール】(10ページ)の手順を行ってください。

■［USBルートハブ］の下に何もない
→【つなぐ】(12ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

注意

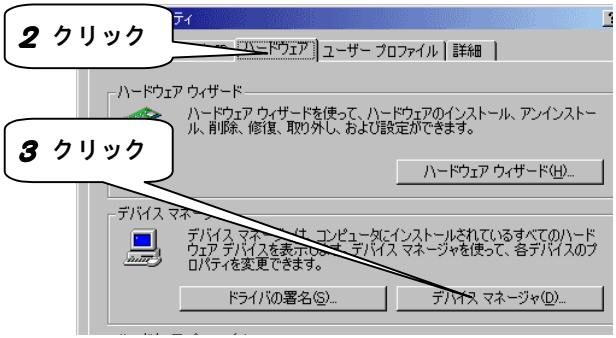
アイコンが表示されない！
【困った時には】をご覧ください。
41ページ

●Windwos 2000で確認

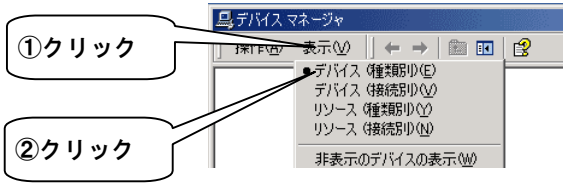
1 「システムのプロパティ」を開きます。
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



4 ［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



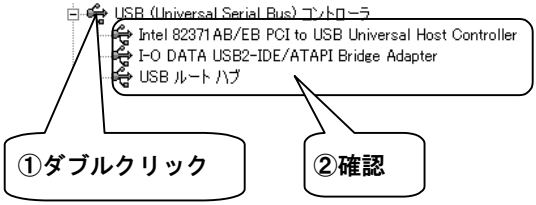
5 **USBコントローラの名前を確認します。**

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリックします。

②その下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。

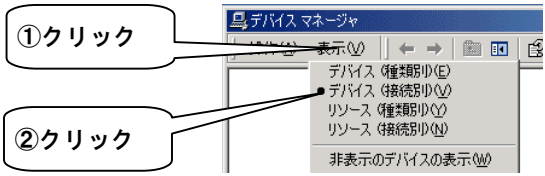
▼画面例 ※USBコントローラは機種により異なります。



USBコントローラに［!］が付いている

→パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 **［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。**

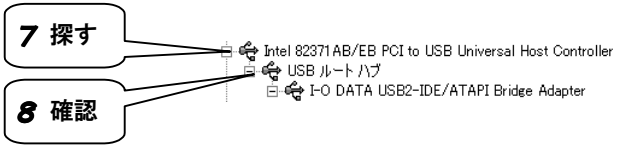


7 **USBコントローラの名前を探します。**

手順5で確認したUSBコントローラを探します。

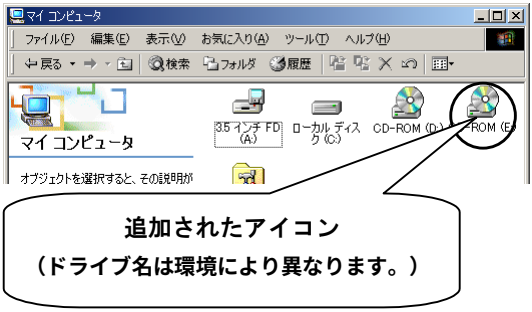
通常USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 USBコントローラの下を確認します。



9 「デバイスマネージャ」を閉じます。
画面右上にある×をクリックします。

10 本製品のアイコンを確認します。
①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えていることを確認します。



確認後、次ページへお進みください。

注意

■［USBルートハブ］に［!］が付いている

→パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

■［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］に［!］が付いている

→もう一度【インストール】(10ページ)の手順を行ってください。

■［USBルートハブ］の下に何もない

→【つなぐ】(12ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

注意

アイコンが表示されない！

【困った時には】をご覧ください。

41ページ

4．基本操作をおぼえる

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

つなぎ方

パソコンの電源を入れていても切っていても、DVD-ROMを接続できます。

1 **DVD-ROMドライブの電源を入れます。**

①DVD-ROMドライブにACアダプタを接続します。

②ACアダプタを電源コンセントに接続します。

③本製品の電源をON（-）にします。

2 **DVD-ROMドライブをUSBポートにつなぎます。**

外し方

DVD-ROMドライブの外し方には、「パソコンの電源を切って外す」方法と「パソコンの電源を切らずに外す」方法の2通りあります。

●パソコンの電源を切って外す

1 **DVD-ROMドライブからディスクを取り出します。**

2 **Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**

3 **DVD-ROMドライブをUSBポートから取り外します。**

4 **DVD-ROMドライブの電源を切ります。**

注意

・本製品に添付のUSBケーブルと、別売のi・CONNECT対応オプションを同時につなげないでください。故障の原因になります。

・≪Windows 2000の場合≫
USBケーブルを抜き、再度つなぐ場合は、Windows 2000を再起動してからつないでください。Windows 2000起動後に抜き差ししないでください。

コラム

【電源連動機能】

パソコンの電源のON/OFFに連動して、DVD-ROMドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のUSBケーブルを使用し、DVD-ROMドライブの電源がON（-）の状態の時のみ有効です。（i・CONNECT対応オプションを使用する際は、電源連動機能は使用できません。）

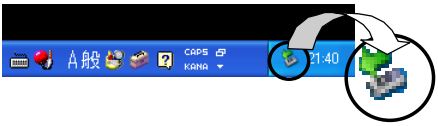
この機能により、パソコンの電源を切れば同時に、DVD-ROMドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、DVD-ROMドライブの電源も入るので手間が省けます。

●パソコンの電源を切らずに外す

USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、取り外し方法が異なります。詳しくはUSB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

Windows XPの場合

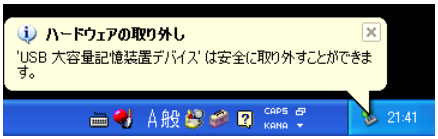
1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された［USB大容量 ・・・・］をクリックします。



3 ［ハードウェアの取り外し］を確認します。



4 DVD-ROMドライブをUSBポートから取り外します。

5 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

注意

この終了手順を行わずにUSBケーブルをUSBポートから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

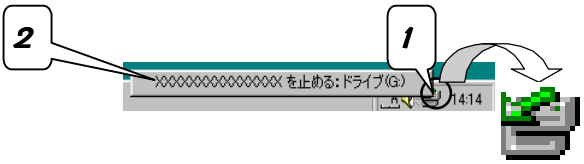
→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

Windows Me/98の場合

1 タスクトレイのアンプラグアイコンをクリックします。

2 表示された［・・・・・を止める］をクリックします。
（“XXX…”はドライブ名です。）



3 [OK]ボタンをクリックします。



4 DVD-ROMドライブをUSBポートから取り外します。

5 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

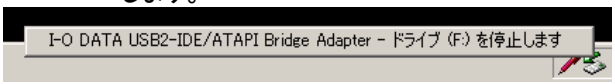
※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

Windows 2000の場合

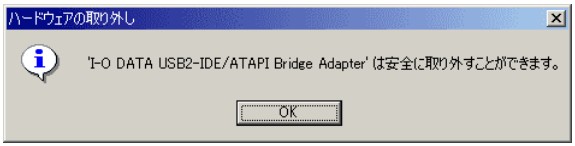
1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



2 表示された［I-O DATA ・・・・］をクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。



4 DVD-ROMドライブをUSBポートから取り外します。

5 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

→①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

ディスクを入れる/出す

ディスクの入れ方/出し方をご確認ください。

注意

- ディスクを出し入れするときは、DVD-ROMドライブの電源をONにしてください。
- 「本製品をパソコンにつなげた状態」かつ「パソコンの電源がONの状態」で、ディスクを出し入れしてください。
- ディスクに異物が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。
- ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
- トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
- 12㎝ディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8㎝ディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。（縦置き時、12㎝ディスク以外は使用できません。）
- ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）

1 パソコンの電源を入れます。
DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯していることをご確認ください。

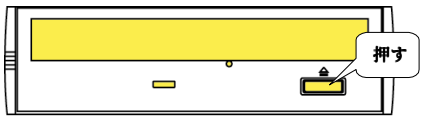
注意

DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯しない

対処①：接続を確認してください。【2.つなぐ】
12ページ

対処②：DVD-ROMドライブの電源がONになっていることをご確認ください。

2 前面のイジェクトボタンを押します。
自動的にトレイが出てきます。



注意

トレイが出てこない！

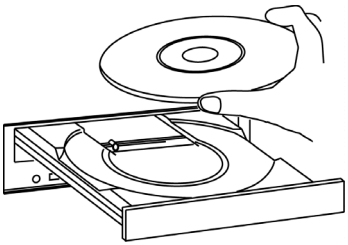
⇒【困った時には】をご覧ください。
42ページ

3 **≪ディスクを入れる≫**

ディスクのラベル面（イラスト面）を上にして、トレイの上にディスクを静かに置いてください。

≪ディスクを出す≫

ディスクのラベル面の裏側（記録面）に触れないように、取り出してください。



4 **イジェクトボタンを押すかトレイをかるく押します。**

自動的にトレイが閉まります。

注意

トレイはすみやかにいれてください。
トレイがでた状態だと内部にゴミがはいり、リード/ライトエラーまたは、故障の原因となる恐れがあります。

MEMO

使ってみよう

添付CD-ROMから目的に合わせてソフトを選び、インストールしましょう。
ここでは、添付ソフトの内容と注意事項を説明しています。
操作方法など、詳しくは各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

DVDビデオを見る

市販のDVDビデオなどを見る際は、
「PowerDVD VR-X」を使います。

30ページ

DVDビデオを見る

本製品を使用して、DVDビデオを見る場合は、「PowerDVD VR-X」を使用します。
（以下、「PowerDVD」と呼びます。）

PowerDVD™ VR-X

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD」などのDVDデコーダが必要です。
次ページで「PowerDVD」をインストールして、使ってみましょう。

注意

《PowerDVDを使用する際のご注意》

・本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“２”に設定されています。
リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
・本製品添付のPowerDVDはドルビーヘッドホンに対応しておりません。

『PowerDVD』
に関するお問い合わせは…

サイバーリンク㈱まで
お問い合わせください。
50ページをご覧ください。

●「PowerDVD」をインストールする

Windows XPやWindows 2000で使う場合は、管理者権限でログインしてください。

1 使用中のアプリケーションやウィルス対策などの常駐プログラムがある場合は終了してください。

2 「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを、本製品に挿入します。

→自動で画面が表示されます。
自動で画面が表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」を起動してください。

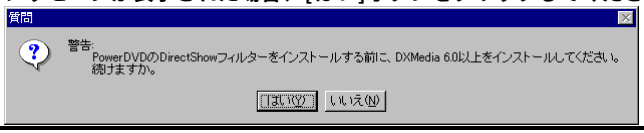
3 メニューから「Power DVD」のボタンをクリックします。

4 あとは画面の指示にしたがってください。

→CD-Key番号を入力するよう指示があったら、本書の表紙に記載している番号を入力してください。

注意

下記のメッセージが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



インストールが終了すると、「システムテストプログラムを実行しますか？」と表示されますので、特に問題がなければ実行してください。

以上でインストールは終了です。

注意

《削除（アンインストール）方法》
PowerDVDを使用しなくなった時に実行してください。
[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を選択し、アンインストールしてください。

●DVDビデオを再生する

PowerDVDをインストール後に再生できます。

本製品にお手持ちのDVDビデオを挿入すると、自動的に再生されます。

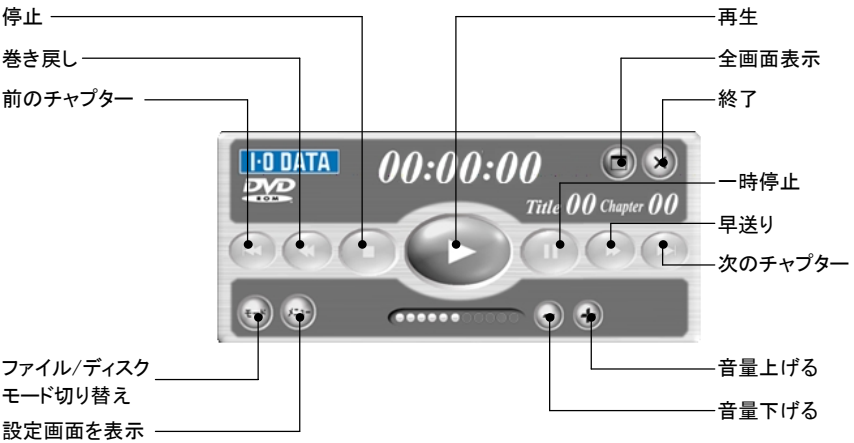
注意

再生できない！
上記の方法で再生できない場合は以下をお試しください。
①[スタート]→[プログラム]→[CyberLink PowerDVD VR-X]→[PowerDVD VR-X]をクリックします。
②表示された画面の[モード]ボタンをクリックして、画面右上に「ディスクモード」と表示させてください。
③[再生]ボタンをクリックすると再生できます。



●操作パネル

操作パネル各ボタンの役割です。



注意

ヘルプを見る方法

（詳しい操作方法はヘルプをご覧ください。ヘルプの内容は、以下の方法で操作パネルを変更したときの内容です。）

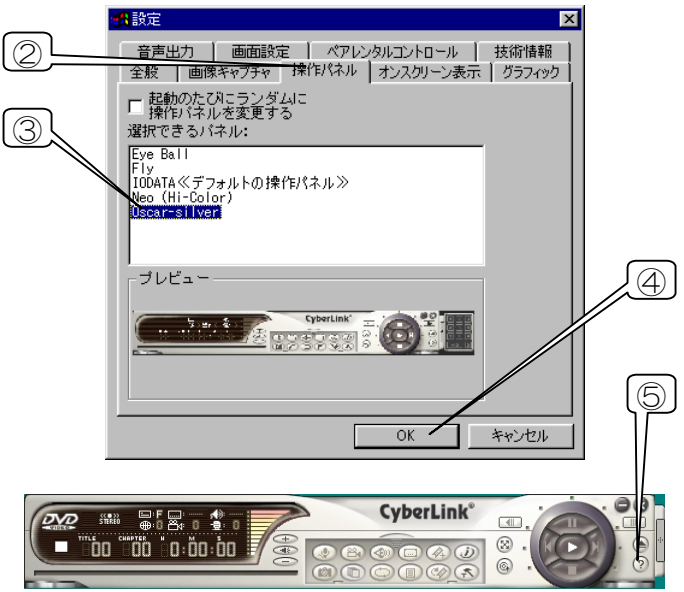
① [メニュー]ボタンをクリックします。

②設定画面の[操作パネル]をクリックします。

③選択できるパネルから[Oscar-silver]を選択します。

④[OK]ボタンをクリックします。

⑤変更された操作パネルの[ヘルプ]ボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。



MEMO

付録

必要に応じてお読みください。

インストールしたドライバの削除

インストールしたドライバを削除します。

36ページ

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

38ページ

仕様

本製品の仕様です。

48ページ

i･CONNECTについて

i･CONNECTについて説明します。

49ページ

インストールしたドライバの削除

Windows Me/98、Windows 2000で、本製品を再びインストールする場合は、インストールしたUSBドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

1 パソコンの電源を切り、USBケーブルを抜きます。

2 Windowsを起動します。

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。

3 「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを挿入します。

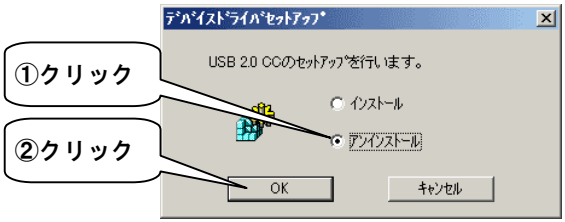
本製品以外のCD-ROMドライブに挿入してください。

4 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0CCサポートソフト]ボタンをクリックします。

自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」をダブルクリックしてください。

5 [アンインストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

→このあと自動で削除されます。



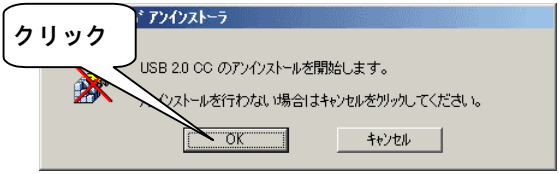
注意



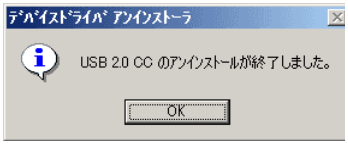
左のような画面が表示されたときは、【困った時には】をご覧ください。

39ページ

6 [OK]ボタンをクリックします。



7 [OK]ボタンをクリックします。



8 挿入したディスクを抜きます。

9 [はい]ボタンをクリックします。



これで、ドライバは削除できました。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

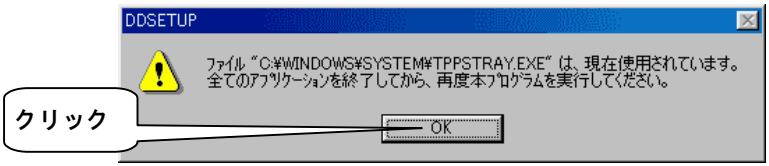
状態	参照ページ
インストール中や削除中にエラーが表示される	39
インストールする前につないでしまった	40
USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない	41
ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない	41
ディスクを挿入しても反応がない	41
ドライブの電源ランプが点灯しない	42
ドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない	42
ディスクが取り出せない	42
音が聞こえない	44
DVDビデオが再生できない	47

インストール中や削除中にエラーが表示される

原因	USB機器を接続している。
対処	USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルのインストールや削除はできません。下記の手順を行ってください。

1 [OK]ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



USB接続のCD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブをお使いの場合

この方法では、作業できません。
次ページをご覧ください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

インストール中の場合は【インストール】(10ページ)の、
削除中の場合は【インストールしたドライバの削除】(36ページ)の手順を行ってください。

ハードディスクにコピーしてインストールする

USB接続のCD-ROMをお使いの場合は、CD-ROM内の内容をハードディスクにコピーしてからインストールしてください。

①添付のCD-ROMをセットします。

②デスクトップに［新しいフォルダ］フォルダを作ります。
デスクトップ上でを右クリックし、［新規作成］→［フォルダ］の順にクリックします。⇒［新しいフォルダ］フォルダを作成します。

③データを［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。
①でセットしたディスク内の［USB2CC］フォルダを、［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。
≪コピー例≫
1)［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
2)CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
3)［USB2CC］フォルダをクリックします。
※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックしてください。
4)メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
5)［新しいフォルダ］フォルダをダブルクリックします。
6)メニューから［編集］→［貼り付け］をクリックします。
⇒［USB2CC］フォルダがコピーされます。

④①でセットしたディスクを取り出します。

⑤パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。
本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

⑥［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。
［新しいフォルダ］→［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

インストールする前につないでしまった

原因	本製品をパソコンにつなぐ前に、インストールしていない。 （Windows Me/98、Windows 2000のみ）
対処	以下の手順にしたがってください。 ①パソコンから本製品を外します。 ②インストールをします。10ページ ③本製品をUSBポートにつなぎます。12ページ

USBケーブルをUSBポートに接続しても認識しない

原因１	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、USBケーブルをUSBポートに接続してください。

原因２	USBポートによっては認識しない。
対処１	接続するポートを変えてください。
対処２	USBハブ接続している場合は、USBハブに接続せずに、パソコン本体のUSBポートに接続してください。

原因３	正しく認識されていない。（Windows Me/98、Windows 2000のみ）
対処	【確認する】をご覧ください。 14ページ

ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない

原因	本製品がバスを占有している。
対処	この場合、すぐには認識されません。本製品の占有が終わってから、他のUSB機器をUSBポートに接続してください。

ディスクを挿入しても反応がない

原因	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、ディスクを使用することができます。

ドライブの電源ランプが点灯しない

原因1	ドライブの電源スイッチがONになっていない場合があります。
対処	ドライブの電源スイッチをONにしてください。
原因2	電源コード(ACアダプタ)が接続されていない場合があります。
対処	電源コード(ACアダプタ)がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。
原因3	ドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。 53ページ

ドライブのランプ（BUSYランプなど）が点灯しない

原因1	ディスクが確実に入っていないことがあります。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。
原因2	ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。
対処	各ケーブルの接続を確認してください。

ディスクが取り出せない

原因1	使用中のアプリケーションで取り出し禁止している場合があります。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因２	トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。
対処	以下の方法で、取り出してください。 **・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。** **・以下の操作は、ドライブおよびパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。** **・ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）** **・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。** 必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。 ①パソコンの電源を切ります。 ②緊急イジェクトホールに針金を差し込みます。 ③トレイを手で引き出し、ディスクを取り出します。 →ディスクを取り出した後、トレイを押し戻してください。

音が聞こえない

原因１	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。
原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。
原因３	音声データが入っていないディスクを入れている
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。

コラム

音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

- ***音楽CD***

  通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。
  「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

- ***DVDビデオ***

  映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、次ページの方法で確認してください。デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、13ページのコラムをご覧ください。

●Windows XPの場合

①[スタート]→[マイコンピュータ]内の[システム情報を表示する]をクリックします。
②[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
③[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM GDR8160B]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
④[プロパティ]タブに[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。
⑤チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

コラム

●Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM GDR8160B]をダブルクリックします。

③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 98の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。

②[音楽CD]タブをクリックします。

③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 2000の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックします。

③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM GDR8160B]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	56ページ以降をご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は原因４の対処をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Winodws Me/98）
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[x]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

DVDビデオが再生できない

原因１	DVDプレーヤーがインストールされていない。
対処	本製品添付の「PowerDVD」をインストールしてください。
原因２	リージョン番号が２またはALL以外のディスクを使用している。
対処	リージョン番号が２またはALLのディスクを使用してください。

仕様

インターフェイス仕様	USB 2.0、i･CONNECT		
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmディスクのみ対応）		
ディスクローディング方式	トレイタイプ　オートローディング		
データバッファサイズ	256kバイト		
読み出し速度	読み出し速度	▼USB 2.0	▼USB 1.1
	DVD-ROM：	16倍速	0.6倍速
	CD-ROM ：	48倍速	6倍速
平均アクセスタイム	120ms（DVD-ROM） 90ms（CD-ROM）		
適合ディスク	DVD-ROM、DVDビデオ、 DVD-R（3.95、4.7GB for Authoring）、 CD-ROM（mode1、mode2）、CD-ROM XA、CD-R/RW CD-DA（Audio CD）、Photo-CD、CD-Extra、Video CD		
アナログライン出力	0.7Vrms（47KΩ）		
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz		
消費電力	20W		
定格電流	5V:1.5A、12V:1.0A		
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）		
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）		
外形寸法	162(W)×240(D)×48(H)mm（突起物含まず）		
質量	約1.5kg		

i・CONNECTについて

●i・CONNECTとは？

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

「i・CONNECT」搭載ドライブは別売のi・CONNECTオプションでも接続できます。

●i・CONNECT対応オプションの動作環境

弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）にて最新情報を掲載しています。

●i・CONNECT対応オプションのセットアップ

「i・CONNECT対応オプション」の取扱説明書をご覧ください。

●i・CONNECT対応オプション使用時のご注意

・「別売のi・CONNECT対応オプション」と「添付のUSBケーブル」を同時につなげないでください。故障の原因になります。

・別売のi・CONNECT対応オプションを使用して本製品をパソコンに接続した場合、電源連動機能は使用できません。
（電源連動機能については、22ページのコラムをご覧ください。）

お問い合わせ先

PowerDVD

「PowerDVD」のお問い合わせ

●お問い合わせ先	サイバーリンク株式会社
ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 **月～金曜日(祝祭日を除く)**

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（本書の表紙に記載しています。）
8. お使いのＰＣ環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVD-iU16A）

サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD用）

・オンライン登録

ユーザー登録ページ　　**http://regist.cli.co.jp/**

・インターネット環境が無い場合

上記の【必要事項】をご記入いただき、サイバーリンク㈱まで、FAXでお送りください。

DVD-ROMドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVD-iU16A」係　宛

電話・FAX

電話番号	**本社　076-260-3688　東京　03-3254-1095**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

サポートライブラリ　　**http://www.iodata.jp/lib/**

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVD-iU16A」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ **原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。**
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

DVD-iU16A 取扱説明書
2001.Dec.28 105344-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

「PowerDVD」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)